

3. 園の特色

1	a. 保育内容* ¹	戸外室内ともに子どもがのびのびと遊ぶ姿が見られる。また、保育士が安全確認を必要に応じておこない、子どもとも丁寧なかかわり方をしていた。季節の訪れを感じることができるように、室内の環境を整備しており、さらに近隣の公園を積極的に利用するなど工夫している。また、その時に地域の人との関わりが適切にもたれている。乳児保育では、個々の子どもに対しゆったりと関わるなど、くつろいだ環境のもとでの保育士の対応に温かさを感じる。
	b. 発達援助* ²	壁には木材をふんだんに使用し、窓が大きく明るい保育室である。保育中は、温度・湿度・換気をチェックし子どもが心地よく過ごせるように環境を整備している。児童に関する資料には、一人一人の子どもの発達の経過が、時期を決めて記録されている。
2	c. 子育て支援* ³	子どもの虐待に対しては、県発行の「子ども虐待対応マニュアル」に基づき、児童相談所との連携がとられている。地域の子育て家庭に対し、子育てサロンがあり、地域の子育て広場の情報や育児に関する資料などを提供している。さらに、「子育て相談カード」をも作成し、子育て支援に積極的に取り組んでいる。
3	d. 地域等連携* ⁴	地域の小学生が授業の一環として来園したり、園児が小学校を訪問するなどの相互の交流が日常的に行なわれている。小学校の先生も夏休みに園で研修を行なっている。地域の民生委員が園児と共に田植え、稲刈りなどの行事に参加する機会などが提供されている。
4	e 運営管理* ⁵	子どもの情報などの管理には、特に配慮している。職員の守秘義務について職員に周知している。事故防止のためのチェックリストを作成し、それにもとづき毎週点検している。調理場、水周りの衛生についてはマニュアルが整備されている。

注:各項目の該当する第三者評価基準の通し番号*1(14~24)、*2(1~13)、*3(25~32)、*4(33~41)、*5(42~52)